

2023年度 授業計画（シラバス） 日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 デジタルクリエイター科	1	CG制作 I (Photoshop)	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
講義と実習	寺窪 洋子	有	
[実務経験歴]			
<p>専門学校専任教員として、グラフィックデザインを軸としたCG制作担当。</p> <p>その後、DTPを中心に編集プロダクションなどの制作会社で、WEB制作を含めたグラフィックデザインを担当。</p> <p>2014年よりフリーランスとして紙媒体を中心としたグラフィックデザイン制作を請け負う。</p> <p>専門学校の非常勤講師と求職者支援訓練校講師にてグラフィック制作全般を担当。</p>			
単位数（授業の回数）	時間数	配当時期	必修・選択
2 単位 (30 回)	60 時間	通年	選択
[授業の目的・ねらい]			
<p>①Photoshopの基本操作を習得する。</p> <p>②課題制作により応用の幅を広げる。</p> <p>③作品制作における表現力を身につける。</p>			
[授業全体の内容の概要]			
<p>①Photoshopの基本操作について</p> <p>②Photoshopを使用した課題制作と提出</p> <p>③Photoshop基本操作の実技試験</p> <p>④illustratorとの連携作品制作</p>			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
Photoshopの基本操作を理解し、基本的な技術を身に付ける。			
[準備学習の具体的な内容]			
<p>基本操作の習得に課題制作を織り交ぜ、実践での使用例を説明し、実践での理解を深める。</p> <p>定期試験の実践により、基本操作の理解の有無の確認を行い、実習を進める。</p> <p>制作物の内覧会を行い、簡単なプレゼンを実施する。</p>			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
<p>使用テキスト</p> <p>世界一わかりやすい Photoshop 操作とデザインの教科書</p> <p>必要に応じてデータ配布。</p> <p>参考文献</p> <p>必要に応じて授業の中で紹介する。</p>		<p>定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 <p>評価基準</p> <p>定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。</p>	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	Mac基本操作／描画ソフトについて／自己紹介		
2回	photoshop基本操作／画像解像度とサイズ変更／選択ツール		
3回	photoshop基本操作／選択とマスク		
4回	色の設定と描画の操作		
5回	ブラシ		

6回	レイヤーの操作
7回	様々なレイヤー機能
8回	文字とパス・シェイプ
9回	文字とパス・シェイプ
10回	グラデーションとパターン
11回	マスクと切り抜き
12回	マスクと切り抜き
13回	フィルターと効果／演習課題
14回	フィルターと効果／演習課題
15回	レイヤースタイル／演習課題
16回	写真の補正
17回	色調補正／演習課題
18回	色調補正／演習課題
19回	写真の修正と加工
20回	写真の修正と加工
21回	合成課題
22回	合成課題
23回	グラフィックデザインを作る
24回	グラフィックデザインを作る
25回	課題「フォトコラージュ」
26回	課題「フォトコラージュ」
27回	課題「フォトコラージュ」
28回	課題「フォトコラージュ」
29回	課題「フォトコラージュ」
30回	まとめと振り返り